



2024年7月23日

各 位

会社名 アミタホールディングス株式会社
代表者 代表取締役会長 兼 CVO 熊野英介
(コード番号：2195 東証グロース)
問合せ先責任者 代表取締役社長 兼 CIOO 末次貴英
T E L (075) 277-0378 (代表)

アミタホールディングス(株)、北九州循環資源製造所の
シリコン再資源化設備3号機の増設完了に関するお知らせ
～循環資源製造量前年比120%で、九州における半導体産業のサーキュラー化を加速～

アミタホールディングス株式会社(以下、当社)は、持続可能な調達と資源活用の総合ソリューションを提供するアミタサーキュラー株式会社の北九州循環資源製造所(以下、北九州製造所)に、シリコン切削屑を含むスラリーをリサイクルするシリコン再資源化設備の3号機を増設しました。

2024年7月23日には、本設備の落成記念式典を行い、資源循環に関わるサプライチェーン企業をはじめ、企業、自治体など約25名にご参加いただきました。

今後は3機体制で製造量前年比120%を目指し、シリコンアイランド九州における半導体産業のサーキュラー化の加速を目指します。



<増設したシリコン再資源化設備3号機>

記

1. 設備増強の背景および概要

日本政府は国内産業の中軸に半導体を置き、2030年に向けて総額10兆円規模の官民投資を行う計画を発表しています。このような状況を受けて、多くの半導体材料メーカーが「シリコンアイランド」と呼ばれる九州エリアを中心に、積極的な設備投資や工場新設等による生産力の増強を進めています。

当社は、2018年より北九州製造所にてシリコン再資源化設備を導入し、翌年には2機体制に設備を増強するなど、半導体材料の製造過程で発生するシリコンスラリーの100%再資源化事業を展開しています。

今回の増設により、今後は3機体制となり、2024年度のシリコン再資源化事業におけるサーキ

ユラーマテリアル（循環資源）の製造量は2023年度比120%に拡大見込みです。本年4月に発表した、省人運転等の取り組みも含め、引き続き、操業の安定化ならびに製品の品質向上に努め、サーキュラーマテリアルを安定供給し、半導体産業のサーキュラー化を推進します。

2. 落成式について

2024年7月23日、北九州製造所で落成記念式典を開催し、スラリーの排出元であり、半導体材料シリコンウェーハの世界最大手の（株）SUMCOをはじめ、製造されたサーキュラーマテリアルを活用する（株）トクヤマ、3号機の建設・製造企業など、約25名の方々にご列席いただきました。



<落成式集合写真>

3. 業績に与える影響

本件が当社の業績に与える影響は軽微です。

以 上

■関連リリース

2022年11月25日

[アマタ（株）北九州循環資源製造所にシリコン再資源化設備の1基増設を決定](#)

2024年4月15日

[アマタグループ、DX推進によりシリコンリサイクルの省人運転を開始](#)